

第 15 回「議員と語りかい」報告書

(横川 : No.1)

| | |
|------------|--|
| 開催日時 | 平成 27 年 5 月 19 日 (火) 曜日 午後 7 時 00 分 ~ 8 時 30 分 |
| 開催場所 | 佐々木分団赤水地区拠点施設 |
| 参加人数 | 15 人 |
| 出席議員 (6 人) | 今吉 歳晴、蔵原 勇、前川原 正人、新橋 実、阿多 己清、平原 志保 |
| 役割分担 (1 班) | 班長 (今吉 歳晴) 副班長 (蔵原 勇) 記録係 (新橋 実) |

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

<意見交換会での主な意見等>

◆ 1

- ① 星原 (点滅) 信号から飛行場へ向かう道路が狭く、カーブも多い道路拡張はできないか。
- ② 大出水の水は非常に良い水だが、この水の利用についてどのように考えているのか。
- ③ 川内原発からこの地域は直線距離で、どれくらい離れているのか。情報公開してほしい。

◇①【議員回答】県道今別府～牧園線については、50%位改良ができています。県も買収をしているが一部個人の所有があり地権者の同意が得られていない場所がある。地権者の同意が得られれば工事は行われる。

②【議員回答】大出水の水については、飲料水や上水道に利用するといった検討はされていない。奥天降観光計画の中で、大出水の水について触れられている。

③【議員回答】横川地区まで約 50 k m 位あると思われる。直線で結ぶと 40 k m 近くになるかも知れない。議会への説明の中では 60 k m とのことであった。

◆ 2

①集落営農への取組の中で、限界集落が非常に多く農地の管理を維持していくのが困難であると思っているが、集落同士が合併して対応していかなければならないのか、住みやすいまちづくりを形成するためにもこうした集落に対して今後どのように考えているのか。

②校区の中で土日に作業班を結成して、限界集落の所に応援に行くようなシステム等ができないか。

③アダプト制度に対する説明を

◇①【議員回答】すべての地域で共通した課題となっている。議会としても今後議論していかなければならない問題であると考えている。現在、地方創生総合戦略調査特別委員会を設置した。11 月までに地方版戦略の策定作業に当たっていくので、市民の皆さんの声を聞かせていただきたいと考えている。

②【議員回答】今朝の新聞の中で、限界集落のある地域では棚田の管理をしている人は、そこに住んでいる人でなく、都会に住んでいる人が会費を払って農作業をさせてもらって維持している。都会の人間は土に飢えている、農作業をしたいと考えている。情報発信することで、土日集落内にある空き家に対する補助等もあるのでそうした場所も利用して、農地の維持管理をしてもらうような体制づくりも必要ではないかと感じている。

③【議員回答】アダプト制度の対象となる道路は、国または県が管理する道路のうち各

道路管理者と市との間で道路の維持等について協議が行われた道路で市長が別に定める道路、市が管理する道路で市長が別に定める道路となっている。

◆ 3

①人口減少に対して今後どのように取り組んでいくのか。地方創生総合戦略特別委員会で周辺地域を特に活性化するような施策を行ってほしい。

②議員減少により住民の声が届かなくなっているのか。弊害が出てきていないか。

◇①【議員回答】人口減少対策について、国も地方創生の中で特に力を入れてきている。

②【議員回答】広い霧島市となり、各議員の責任が重くなっている。

◆ 4

①空き家対策で市外から市内へ移住された40歳未満の方に月3万円の家賃補助が出されているが、なぜ40歳未満となったのか。もう少し対象を広げることはできなかったのか。

②中山間地域に対する空き家対策で40歳未満というのは無理があると思うが、子育て世代の方が本当にこうした地域に来るのか考えてのことなのか。

◇①【議員回答】目的が人口増ということであり、子供を産み育てられる年齢ということでこのようになったと思う。

②【議員回答】霧島地区には今回小学生と一緒に引っ越した方がいた。霧島地区は人気がある。若い世代の方は、空き家補助があることで助かったと聞いている。幼稚園と小学校が一緒になっている点など評価されていると思われる。佐々木地区ですばらしい教育が受けられてすばらしい子育てができるということであれば、大勢の親御さんたちが押し寄せてくると思う。また、家賃補助については10ヶ月間であり、初めて実施しているので、効果を見ていきたい。

◆ 5

①横川では自治会が自主的に合併をしているところがあるが、支援がない。南九州市や鹿屋市では支援している自治体もあるが、議会サイドで研修してもらえないか。支援策は、鹿屋の資料を持っているが、事前協議の支援・自治会が合併した後の交流を深めるための支援等が行われている。中身については、南九州市が充実していたと思う。

②赤水の分譲地に公園が整備されたが遊具を見ていただきたい。ブランコとかシーソーとか整備されていないようなので。

③今日の語りかいを他の自治会の方が知らない。一人でも多くの方が参加できる広報体制をとってほしい。広報はしなくても良いというようなお話だったがどうなのか。

◇①【議員回答】自治会の合併については、大事なことであるが、自治会においては様々な問題があるようだ。財産を持っている自治会もあったりして、自治会に入るには入会金を払わないと入れないといったような自治会もあると聞いている。行政としても事務の効率化の観点から進めていかなければならない問題と考えている。自治会の統合については、総務文教委員会で話題にしていきたい。

②【議員回答】公園の遊具については、ブランコ等危険なものについては設置しない方向になっていると聞いている。

③【議員回答】以前は広く呼びかけをしていたが、現在は地域を限定して行っている状況である。今後も広報のあり方について検討する。

◆ 6 要望事項

- ① 大出水の改修を今年行うことになっているが、魅力ある観光地づくりということで、昨年道路の離合箇所を一部していただいたが、今回道路整備もかねて整備していただくようお願いしたい。
(要望)
- ② 過疎債が復活したと聞いているので、過疎債を利用して横川町に導入してもらいたい。(要望)